

**地域密着型サービス 運営推進会議 報告書**

事業所名：小規模多機能型居宅介護事業所ほほえみ

サービス種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

地域密着型通所介護 ・ 認知症対応型通所介護（該当に）

日 時： 令和2年4月16日（木曜日）10時00分～11時00分

場 所： 小規模多機能型居宅介護事業所ほほえみ

出席者：7人

利用者代表	0人	知見を有する者	2人
利用者家族	1人	大田市職員	2人
地域住民の代表	0人		
事業所職員 (職名：施設長・管理者)			2人

1. 報告事項：

(1) 利用者の状況

①入所者、登録者、利用者の人数

(小規模多機能居宅介護は、通い・訪問・泊りの利用者状況を加える)

a) 登録者数及び男女比

	2月	3月
登録数（月末時点）	26名	27名
男性：女性	5：21	5：22

b) 地域

	2月	3月
仁摩町	21名	22名
温泉津町	4名	4名
大森町	1名	1名

c) 要介護度

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	変更申請
2月	0	0	10	5	5	3	3	0
3月	0	0	9	6	5	4	3	0

d) 年齢構成

	65歳未満	65歳以上 75歳未満	75歳以上 85歳未満	85歳以上 95歳未満	95歳以上	平均年齢
2月	0	0	2	22	2	89.1歳
3月	0	0	2	23	2	88.9歳

(2) サービスの提供状況

① サービスの提供回数

a) 週当たりの平均サービス提供回数

	2月	3月
通いのべ人数/月 (平均)	406人 (14.0人/日)	417人 (13.4/日)
宿泊のべ人数/月 (平均)	151人 (5.2人/日)	152人 (4.9人/日)
訪問のべ回数/月 (平均)	260回 (8.9人/日)	284回 (9.1人/日)
のべサービス 提供回数/月	817回	853回
のべ利用日数/月	767回	822回
登録者一人当たり の平均利用回数	一人当たり7.45回/週 817/767*7	一人当たり7.26回/週 853/822*7

b) 長期宿泊および過少サービスの状況

1ヶ月以上の連続宿泊の方1名、週平均4回以下の過少サービス状態の方5名がおられました。長期宿泊者については施設入所事前状況確認中で連続宿泊の妥当性について委員からの疑義はありませんでした。過少サー

ビス状態の方については各利用者の心身状況・生活状況、本人・家族の希望を報告し、委員より不適切指摘はありませんでした。

過少サービス状態の方のうち1名は継続して、サービスを提供しない日の電話による安否確認を行う必要性を確認し、実施状況を報告しました。電話による安否確認が新たに必要な方については無しと評価されました。

### (3) しつらえ・環境作り

#### ① 過ごしやすい空間作りの取組

2月26日	ひな飾り
3月6日	壁絵飾り・さくら絵飾りつけ
3月9日	館内エアコン用空気かく拌ファン設置（温度ムラ低減）
3月23日	脱衣場勝手口外 物干し場設置工事完了

#### ② 感染症予防のための取組み

コロナ以外の感染症の発生はありませんでした。

毎日の管理 : 換気・加湿・手すり等消毒

週2回の管理 : 次亜塩素酸ナトリウムを使用した床拭き

職員の健康管理 : 出勤前自宅検温、県外移動自粛要請及び状況把握

来館者 : 自粛要請中 玄関での来館者名簿作成、検温、消毒

備蓄 : マスク（2か月程度）、消毒液（支障なし）

サービス変更 : 市内感染の発表あった時点で通いの時間短縮し館内消毒を徹底

町内発生相当の情報があった時点で通いは入浴のみに変更、食事提供無し、半日利用にて対応

### (4) 地域と職員のかかわり

#### ① 参加行事

コロナウイルス感染予防対策のためすべて休止

#### ② 実習受入れ

なし

③民生委員・関係機関等との連携

・ 4月頃にハーモニカ演奏のボランティア訪問相談受付。

(5) 利用者の生活に地域とのつながりをもつ取組

①利用者個別の地域行事参加支援

なし

②利用者全体の外出支援・地域行事参加支援

2月2日	町内買物支援	2名
2月21日	町内買物支援	2名
2月29日	銀行同行	1名
3月18日	町内買物支援	2名
3月20日	町内買物支援	2名
3月27日	仁摩支所手続き同行援助	1名
3月31日	銀行同行	1名

③通院支援

定期受診日の予約票保管、受診促し	25名
処方薬の受領、支払い代行	25名
体調不良時の主治医への状態報告、受診手配	2名

③町内買い物代行

12名を継続支援中です。

④町内支払い代行

8名を法人預り金管理規程に準じてお預りし、支払いを代行しました。

購入支援の主な内容は、受診代、薬代、紙おむつ代、食材購入代でした。

(6) 防災・災害対策

特になし

## (7) 質を向上するための取組

### ①研修（職場内外）の実施・参加

2月6日	ごちゃまぜで挑むまちづくり講演会（県央保健所主催）	1名
2月13日	事業所ミーティング	10名
3月12日	事業所ミーティング	12名

### ②介護事故の発生状況

	発生日	事故の状況	けが等の程度	受診等の有無
1	3月23日	血圧計腕帯による皮下出血	なし	なし

## (8) 人権・プライバシーの保護

### ①身体拘束の有無

実施の必要性はありませんでした。

### ②虐待防止活動（大田市介護相談員）

2月19日 虐待なしとの見解でした。

3月 当面の来所休止

### ③苦情相談

苦情相談はありませんでした。

## 3. 地域かかわりシート②の最終確認、総括表の作成について

内容説明し、了承を得ました。

## 2. 質疑応答・アドバイス（サービス評価へのものも含む）

家族：コロナ対策による通いの休止の判断理由には、職員、利用者、家族、いくつかのパターンがあるように思うがどのような判断が行われますか。職員が罹患すると訪問できなくなると思いました。

施設長 : たくさんの可能性があり、なかなかすべてをパターン化して備えることが難しい状況です。

市職員 : 国からの通知では、小規模多機能は一般のデイサービスのようには休止することは想定されておらず、保健所の判断、指導に基づいて通いは休止しても訪問は継続提供することとなっています。また、サービスの利用回数が減少しても週4回未満となっても報酬減算としないこととなっています。報道によると今後緊急事態宣言の対象地域が拡大する見込みとのことですので、そこにも備えてもらえればと思います。

管理者 : 家族に都会地との往復介護者がおり、その方々に往来自粛と往来時のサービス利用自粛を要請しています。了解はしていただけるのですが、一方で見守りがなくなるため宿泊させたいとの希望も増えており、提供量を減らす以上に増えかねない状況があります。

市職員 : 通い、泊りにはそれぞれ定員が定められています。現時点では緊急事態に対応するためにその定員を超過しても良いとの通知は出ておりません。しかしながら指定基準に緊急やむを得ない場合の定員超過を認める表現がありますので、そのような状況がある場合は市に相談してもらえればと思います。

管理者 : サービス提供事業者はむやみに「緊急やむを得ない」と自己判断するのは妥当ではないと考えて通常は定員順守については厳格に運用しております。必要に応じて相談させていただきます。

知見者 : 大田市では各施設の職員の確保はできていますか？

市職員 : 地域全体で基準は満たしているが、細やかに対応するには人不足という状況と聞いています。仁摩福祉会さんはどうですか。

施設長 : 同様です。人口減少で他業種との獲得競争が激しくなっています。

知見者 : 聞くところによると介護家族としては入浴サービスが大変助かるときいたが仁摩ではどうですか。

市職員 : 一般のデイサービス等でも介護保険の本来趣旨、基準とはやや外れ

る部分ではありますが希望は多いです。

管理者 : 当事業所のコロナ対策でも入浴は最後まで継続できるようにしたいと考えています。

家族 : 介護業務のうち、特に専門的知識や技量を必要としない作業についてはアウトソーシングや補助職員で行うことも考えておられますか。

施設長 : ほほえみではありませんが、他事業所では送迎や食器洗いなどに介護助手的な業務を担う職員がいます。

市職員 : 数年前から介護に関する入門的研修が開催されており、ご指摘のような役割を担う方への研修という位置づけのようです。これまでは研修単独でしたが、今年度以降は事業所とのマッチングも展開されるようですので、今後の発表される情報にも目を向けてもらえればと思います。

小規模多機能はコロナ対策ではサービス休止が予定されていない事業で、大変な状況ですが、そうぞ利用者の利益、利便を守り続けてもらえますように活動をお願いいたします。

#### 4. 次回開催

第2回 令和2年6月18日(木) 10時から開催します。

コロナウイルス感染対策の状況によっては変更となる可能性があります。